



セーフコミュニティ通信 第32号

2023(令和5)年3月発行

セーフコミュニティ 郡山

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2018.2.2 国際認証取得
2023.2.4 国際認証再取得

セーフコミュニティ 国際認証再取得！



2023年2月4日、郡山市セーフコミュニティ再認証式を開催しました。

式では、国際セーフコミュニティ認証センターと郡山市が、安全なまちづくりに継続して取り組むこと及び国内外への普及に向けて活発に発信していくことについて合意を交わしました。

今後も、地域一体となってけがや事故の予防活動に取り組み、国際基準の安全で安心なまちづくりを進めていきます！

郡山市セーフコミュニティ再認証式

- 第一部 合意書署名式
- 第二部 セーフコミュニティ賞表彰式

月日 令和5年2月4日 13時30分～15時00分
場所 郡山市役所 正庁



国際セーフコミュニティ認証センターから授与された認証旗を持って記念撮影

第1部 合意書署名式

合意書署名



～合意書本文～

国際セーフコミュニティ認証センター及び郡山市は、全ての環境・状況の安全を対象に、市全域、全年齢の市民の傷害予防を通じた安全なまちづくりに継続して取り組むことをここに合意します。
また、この取組に関わる者として、安全なまちづくりの取組を記録・評価するとともに、国内外への普及に向けて活発に発信していくことに合意します。

正認証審査員のミカエル・グリヴナ氏と国際セーフコミュニティ認証センター長のレザ・モハマディ氏からは予め署名をいただきました。



合意書



認証盾



- (写真左から)
- ・日本セーフコミュニティ推進機構代表理事 白石陽子氏
 - ・郡山市長 品川万里
 - ・郡山市議会議長 塩田義智氏
 - ・郡山市自治会連合会会長 鈴木光二氏

認証報告



認証盾授与



認証旗授与



認証審査員メッセージ



式辞



感謝状贈呈



セーフコミュニティ認証審査員からのメッセージ (一部抜粋)

市や関係機関の様々な分野での努力、そして市民の皆様の積極的な参画によって取組が継続的に実施され、その結果として素晴らしい成果を得ることができたのです。

これまでの取組とその成果は、再認証に値するものであり、全7つの指標を十分満たしていると判断し、引き続き国際セーフコミュニティネットワークの一員としての条件を十分に満たしていることを認証センターにお伝えすることができました。改めて、この度は再認証おめでとうございます。 ミカエル・グリヴナ

代表受領
外傷サーベイランス委員会
寺西 寧 委員長

これまで郡山市のセーフコミュニティ活動に取り組んできた外傷サーベイランス委員会委員、各対策委員会委員の皆さんへ、市長から感謝状を贈りました。



再認証取得までの歩み

- | | | | |
|-------|---|-------|---------------------|
| 2014年 | セーフコミュニティ取組宣言 | 2018年 | セーフコミュニティ国際認証 取得 |
| 2015年 | 推進協議会、外傷サーベイランス委員会 設置
6つの分野別対策委員会 活動開始 | ↓ | S+PDCAサイクルによる活動を継続 |
| 2017年 | 国際認証審査員による現地審査 | 2022年 | 再認証に係る現地審査 |
| | | 2023年 | セーフコミュニティ国際認証 再認証取得 |

= 郡山市セーフコミュニティ活動推進表彰事業 =

市内でセーフコミュニティ活動に取り組む皆さんを、
令和4年度セーフコミュニティ賞として表彰しました



令和4年度セーフコミュニティ賞

セーフコミュニティ賞受賞者のみなさん

(五十音順)

- ・ 石筵サロン会
- ・ 大槻小地区見守り隊
- ・ 学校法人成田学園 希望ヶ丘こども園
- ・ 郡山地区交通安全協会 方八町支部
- ・ 佐川急便株式会社 郡山営業所
- ・ 柴宮小・地域子ども見守り隊
- ・ 下高玉サロン会
- ・ 中町はなさと保育園
- ・ 日本大学工学部
- ・ 日本たばこ産業株式会社 福島支社
- ・ 額賀 威佐尾さん
- ・ みほたカフェ&マーケット運営協議会

受賞者代表あいさつ



佐川急便株式会社郡山営業所
所長 安濃 伸英様

セーフコミュニティに携わって約10年になるが、賞を受賞される方のカテゴリが多様化してきたと感じます。今後も安全安心なまちづくりのためにご協力をお願いしたいと思います。

今後も郡山市民のみなさまの安全と安心をさらに加速させるために、従業員一同、安全活動に努めていきます。



審査員講評



外傷サーベイランス委員会
寺西 寧 委員長

市役所本庁舎入り口のセーフコミュニティコーナーをリニューアルしました！今回授与された盾やセーフコミュニティ賞受賞者のみなさんの活動をご紹介します。



市役所に来た際にはぜひご覧ください！



再認証式ウェブサイト



2022年郡山市救急搬送の概況について

= 予防救急 =

2022年の救急搬送人員は13,454人で、前年と比べて1,295人増加し、過去最高値となりました。

過去10年間の推移をみると、2020年と2021年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛により、生活行動が制限されたこと等が影響し低い水準でした。

一方で2022年は、新しい生活様式の定着により行動制限がなくなるとともに、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者からの119番通報が多発したことにより、出動件数、搬送人員ともに前年から大きく増加しました。

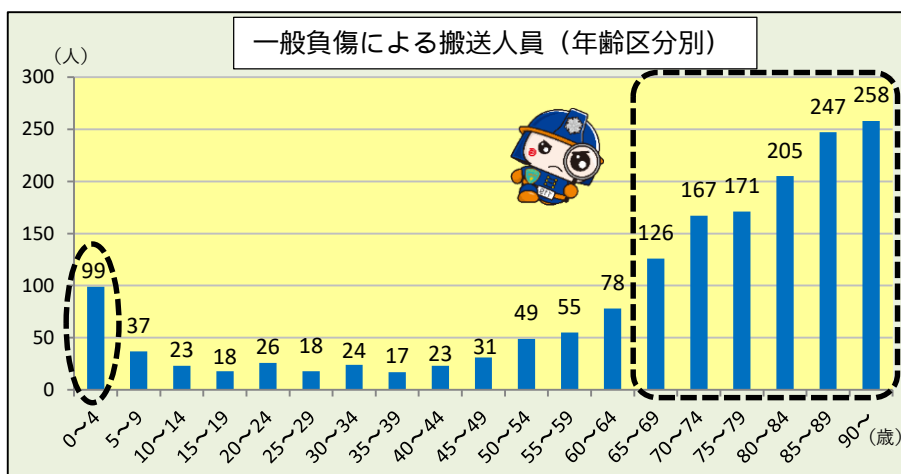
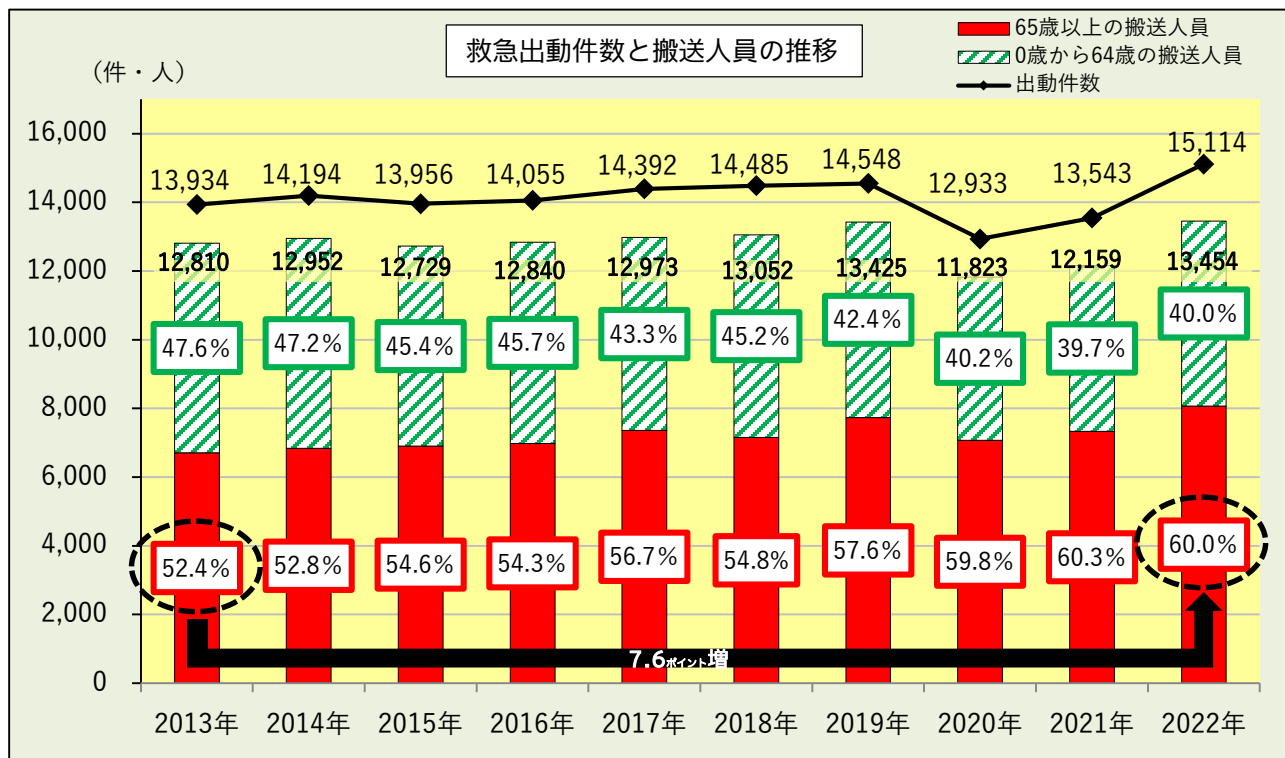
また、その他の増加要因は、高齢化の進展が影響していると推測されます。

搬送人員に占める65歳以上の割合は、2022年は2013年に比べ7.6ポイント増加し、60.0%となっています。

郡山地方広域消防組合は
けがなどを予防する
『予防救急』に
取り組んでいます。



郡山市民の24人に1人が
救急搬送されたこととなります



一般負傷による搬送人員は、前年と比べて101人増加し1,672人でした。年齢区別にみると、65歳以上が1,174人となり全体の70.2%を占めています。

原因別にみると、転倒・転落が最も多く、全体の約7割を占めています。

そのため、運動能力の低下した高齢者や、未発達な「0歳から4歳」の年齢区分で一般負傷による搬送人員が多くなっていると推測されます。

地域のいきいき百歳体操などに参加して体力をつけよう！



情報提供：郡山地方広域消防組合

発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会 / 2023(令和5)年3月

【お問合せ・連絡先】

事務局：郡山市市民部セーフコミュニティ課セーフコミュニティ推進室（郡山市役所西庁舎3階）

電話 024-924-2151 ファクシ 024-921-1340

メールアドレス safecommunity@city.koriyama.lg.jp

